

# あぐりサポートニュース

## ～12市町村 復興再生への取組《葛尾村》～

(公財)福島県農業振興公社

### 葛尾村における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

葛尾村は原発事故の影響により、一時、全村避難指示区域となりましたが、村の大部分は平成28年6月12日に解除され、特定復興再生拠点区域（帰還困難区域）野行地区も令和4年6月12日に解除となりました。

村内の営農再開は少しずつではありますが、着実に進んでおり、令和3年度の営農再開面積は約68ha、営農再開率は17.2%となっております。今年度は、避難指示が先に解除されている地域で、水稻約60ha、そばや大豆、飼料作物等の畑作13haで営農再開されております。また、畜産農家（25戸）の帰村も進み、繁殖・肥育・乳用牛や、綿羊、ブロイラーが飼養されております。一方、特定復興再生拠点の野行地区では、営農再開に向け令和3年度から3カ年計画で、試験ほ場にて水稻や野菜の試験栽培を行っております。

今後の課題としては、担い手の確保です。特に、山間部の過疎地域では原発事故の影響により、担い手確保がこれまで以上に難しくなり、この10年間の農業を取り戻すのは大変な状況です。また、若い農業者も少なく農業を維持していく見通しは厳しいものがあります。

そのため、農地中間管理事業を契機とした担い手の確保に向け、農地中間管理事業重点実施区域に3つの地域を指定し、農地中間管理事業に関する話合いを始めております。話合いの中では、ほ場整備を契機とした新たな担い手や、地域の中核農家の担い手、集落ぐるみで行っている水稻営農組織などが候補に挙がっており、引き続き地域の合意形成に向けて話合いを進めていきたいと思っております。

農業委員との地域巡回



野行地区 試験栽培状況(稲刈り)



重点実施区域での話合い



#### 《市町村コーディネーター 自己紹介》

葛尾村担当 市町村コーディネーターの半澤富二雄（はんざわ ふじお）です。令和3年4月より葛尾村役場に駐在しております。村内の営農再開が進むよう、村役場での勤務経験を生かして、地域の方々とお話をさせて頂いております。また、市町村コーディネーター業務の傍ら、自ら農地の保安全管理をしながら関係機関の指導を受け水稻試験栽培、野菜の試験栽培にも取り組んでいます。葛尾村が好きで故郷に戻りたいとの強い思いを持ちながら、営農再開に向け、農地バンク事業の推進を図っております。

